

裁判員等経験者の意見交換会 開催概要

釧路地方裁判所では、令和5年10月12日（木）、裁判員等経験者3人にお越しいただき、裁判官、検察官、弁護士を交えて意見交換会を開催しました。

いただいたご意見やご感想の一部をご紹介します。

全般的な感想

- 全体を通して、不安になるようなことは一切なく、裁判を終えることができました。被告人の行動の一部始終を時系列で頭に入れたり、被害者の方が受けた被害の状況などを考えながら、他の裁判員と議論し、本当に真剣な日々を過ごしながら、判決までたどり着けたと思います。
- 新聞やテレビで報道されているような内容以外に、事件に至るいろいろな過程があるのだということが理解できて、大変勉強になりました。
- 裁判の流れなど、自分が知らなかったことを知ることができ、とても貴重な経験ができました。ニュース等で事件の判決を見ても、見えない背景や事情があったのかなと思いを巡らせるようになりました。

検察官や弁護人の主張全般や証拠調べについての感想

- 日常からかけ離れたことを膨大な情報量で伝えられ、ついていくのが大変でしたが、わかりやすい説明で、流れとしては良かったと思います。
- それほど難しいとは感じませんでした。検察官と弁護人が言っていることはすんなり頭に入ってきました。
- 証拠は、裁判員にとって分かりやすく、かつ、刺激の強そうなものはできるだけ見せないような配慮もしていただきました。法廷での話し方も聞きやすい口調で、とてもよく伝わりました。
- 最初に証拠を見たり証人尋問を聞いた時には「なぜこの証拠が出てきたんだろう」「この証人が出てきたことによって、どう弁護につながるんだろう」と思っていたことが、審理が進んでいくうちにだんだん分かってきた部分がありました。

評議について

- 裁判長が一人一人に意見があるか聞いてくれて、話がしやすい雰囲気でした。話し合いの中でヒントをもらい、ハッと気づいて自分の意見が言えたということが何度もあり、良い評議ができたのかなと思います。
- 裁判長がホワイトボードを使いながら分かりやすく説明してくれたので、後から思い出しながら考えることもできて良かったです。自分の意見もしっかり言えました。
- 一つの意見に対して、反対側や側面からの見方なども投げかけてもらうことで、自分の思考を偏らせずに話をするのができ、本当に忌憚なく意見交換ができたように感じています。

これから裁判員になられる方への メッセージをお願いします！

- 裁判員を経験したことで、裁判に対する興味の持ち方がガラッと変わりました。自分の人生にとって非常にプラスになるような経験であることは間違いありません。誰もがなれるわけではありませんので、もし選ばれたらチャンスだと思っていただいた方が良いでしょう。
- 国民として、ぜひ参加して、自分の糧にしてほしいと思います。
- 裁判員になったら、自分の考えに自信が持てずに意見を言い淀んでしまうことがあるかもしれませんが、でも、もし、自分の考えが間違っているとしても、自分以外にも裁判員はいるし、裁判官もいるし、見てもらえる目がたくさんあるので、その点で不安を感じる必要はないのかなと思います。もし、機会があれば、ぜひ参加してほしいと思います。

ご参加いただいた皆さま、貴重なご意見、ご感想、大変ありがとうございました。



裁判員制度

